

2025 年 3 月期 第 2 四半期（中間期） 主な質疑応答内容

2024 年 11 月 22 日（金）に開催致しました、弊社「2025 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）」の主な質疑応答の内容について以下に記します。

なお、記載内容につきましては、質疑応答の内容をご理解いただきやすい様、表現の変更や加筆・修正を行っておりますのでご了承下さい。

問 1. 4 輪事業のエンジン補機など需要減少が見込まれる部品の戦略的な撤退・縮小とは具体的にどのように進めるのか？当面は一定程度供給力の確保が OEM 側から求められるものと理解している。実現に向けた課題があれば教えて欲しい。

答 1. お客様からの合意を得た上で、生産効率を維持しつつ計画的に生産ライン・拠点の統廃合を進める。同時にしっかりと利益を確保しながら、最後の 1 台まで責任を持って供給義務を果たしていく。

問 2. 主に 4 輪車の電動化により、競合他社のミツバとの競合製品からの撤退の動きが発生しているものと思われる。これら製品への取り組みについて教えて欲しい。

答 2. この様な動きがある事は認識している。当該商品の競合環境、ミツバの生産体制や強みなどを考慮し一つひとつ判断をしていく。「選択と集中」を進めていく。

問 3. 4 輪/2 輪の事業ポートフォリオ戦略の理解度を上げたいので、各商品群の売上・利益のボリュームを具体的に金額で教えて欲しい。また、今後伸びていくであろう「ブラシレスファンモーター」「2 輪 EV 駆動システム」の拡販先についても教えて欲しい。

答 3. 具体的な数字や拡販先については、客先との機密保持契約等もあり申し上げられない。

4 輪の熱マネジメント系については、複数の OEM 向けの開発が進んでおり 2026 年より順次拡大していく。また付加価値も上がるため、成長領域として捉えて取り組んでいる。

シャーシ系については、SDV 対応を睨み、統合制御にばら下がるアクチュエーターとして制御技術も含めた開発を進めており、受注が確定しているものもある。

2 輪の EV 駆動システムについて、インドでは EV 専門メーカーへの拡販トライを進めている一方で、日系メーカーとの共同開発も進めている。アセアンについてはインドネシアにチャンスありと考えており、拡販を進めている。

問 4. 4 輪車向けブレーキ製品の市場環境について、ミツバとしての認識をお聞かせ願いたい。

答 4. 現状の電動ブレーキについては、すでにコスト競争に突入しておりレッドオーシャンと考えている。よってミツバとしては、その次の世代の四輪独立の電動ブレーキなどの開発を進めているが、Tier1 向けで量産に繋がらず足踏み状態となっている。しかしこれら次世代のブレーキシステムについては 2030 年頃での普及を予想しているため、販路も拡大しながら開発を継続する。

問 5. 今後の生産増強・投資計画について、可能な範囲でお教え願いたい。

答 5. 2 輪 EV 駆動システムのパイロットラインは、インド・チェンナイの拠点に年間 1,000 台程度の試作品が生産可能なものを考えている。燃料ポンプ・AC ジェネレーターについては、チェンナイ、グルガオンにて客先の増産に合わせた能力増強を予定している。また、ガソリン車から Flexible-Fuel-Motorcycle に変わると、それに対応した燃料ポンプが必要となる。インド政府の方針とインフラ整備の状況にもよるがこちらも拡大を見込んでいる。

問 6. 説明資料の P.17 の 2 輪の事業ポートフォリオ上で、燃料ポンプについては顧客市場ニーズが縮小すると描かれているがその理解で良いか？

答 6. 当中期経営計画はおよそ 2 年前に策定したものであるため、現在の市場認識と異なっている部分がある。燃料ポンプについては、顧客市場ニーズは拡大傾向である。

問 7. 今回の D 種優先株式発行の経緯についてご説明をお願いしたい。

答 7. 「早期の財務体質の安定化」と「成長領域への資金」を目的として発行し、100 億円を調達した。

問 8. 厳しくなっている中国エリア事業での対処策について、具体的な施策を教えて欲しい。

答 8. 中国エリアについてはミツバとしても厳しい状況と考えている。足下では人員の適正化をはじめとした固定費削減策を推進している。今後状況の回復が見込めなければ、もう一段の固定費削減を検討しなければならないと考えている。
並行して中国資本 OEM への拡販はおよそ 2 年前頃から開始しており、一部で受注ができていますが直ぐに拡大させることは難しい。

問 9. 快適性分野でのモーター需要について教えて欲しい。

答 9. 現状以上に多様なシートアレンジを目的とした引合いを受けており、この分野における需要の増加が見込まれる。

以上